

2026年5月15日

お客さま各位

水戸証券株式会社
投資顧問部

リバランス実施の背景

1. TAA 実施に関して

- ・ 5月13日（水）の投資政策会議において、投資判断の一部を変更させていただきました。これまでの資産配分比率に占める国内株式の割合を引き下げることといたします。
- ・ TAA は、相場環境見通しに基づき資産配分を変更するものです。
- ・ 以下、その背景につきご案内申し上げます。

2. TAA 実施の背景

<国内株式> 「中立」→「やや弱気」

- ・ 国内株式相場（TOPIX）は、AI（人工知能）・半導体関連の好調がけん引し、イラン戦争前の水準を概ね回復しています。一方で、AI・半導体関連には短期的な過熱感がみられるほか、輸送用機器や内需関連には中東情勢悪化にともなう原油高・ナフサ供給不足等の悪影響が散見されます。ホルムズ海峡の正常化には時間を要するものと思われ、国内景気や企業業績へのマイナス影響が次第に強まることが懸念されます。
- ・ また、中東情勢を背景としたインフレ懸念の高まりとともに国内外の金利が上昇基調となっており、日銀の6月利上げの可能性が高まっています。米FRB（連邦準備制度理事会）についても、2026年内の利上げ観測が高まりつつあり、相場の重しになると思われまます。
- ・ 3月に懸念が高まった米プライベートクレジットの解約制限問題についても、次の解約可能期間である6月末にかけて再燃する可能性が相応に高いと思われ、不安定要因として警戒が必要と考えます。

このような最近の投資環境を踏まえ、国内株式の投資判断を変更することといたしました。

以 上